

【表紙の漢詩】

魚鼈蛟龍何処辺

蒼波萬頃尽稻田

若教世道如人意

豈費經綸三百年

ぎょへんりゅうどうずいのへん

そうはばんけいとうくいなだとなる

もしおしえせとうじんのうくへば

あにけいんさんびゃくねんをこやせむ

意味)

魚やスポン みずちは品井沼のどこに見られるだろうか
今や見渡す限り青い波打つ稲田となる

もし世の中の事柄が人の意のままになるのならば
どうして三百年の苦心を費やすことがあるつか

みずち・・・水中に住む竜の一種。蛇に似て四足があり、

大きいものは人をむといつ。

鎌田三之助が明治四十三年十二月二十六日

明治潜穴通水の感激を託した漢詩。



黄金色の稲穂が広がる品井沼地区（2010.9.4 撮影）